

労働集約型からの脱却でタイでも求められる「精密」 クリアランス「ゼロ」の熟練技が多様なニーズに対応



Mr. Yostuke Nishimura
西村 陽介氏
Managing Director



クリアランス「ゼロ」という日本でもまれな熟練技を誇る金型メーカーがタイで活躍している。1999年にタイ現法を設立、当地での実績もそろそろ20年を数える「エヌビー精密」だ。金型設計・製作から二輪、四輪、家電、光学機器、建材といった各種部品の量産プレス加工まで一貫生産。今後「より高度な技術」「より精密な製品」が求められるタイのものづくり、「タイでも本業である『精密』で活躍していきたい」と西村Managing Director(以下MD)は語る。

エヌビー精密(本社:静岡県富士宮市)は1974年に創業、金型設計・製作および量産プレス加工で類を見ない精密さを誇る。例えば日本本社で量産しているカメラ部品などは、

日本はもとより欧州メーカーでも使われている。その精密さはタイでも難く維持しているという。

■高精度の設備と熟練工の融合

今年1月に、タイ法人で2台目となる超高精度ワイヤー放電加工機を導入した。形状・ピッチ加工精度が高く、既にワイヤーカット部品のみを組み込んだだけの金型でクリアランス2 μ m(0.002ミリ)を実現しており、特に薄物などで威力を発揮している。

「高精度の設備と熟練工の融合で差別化を図る」と語る西村MD。同社では、熟練技によってクリアランス「ゼロ」を実現し、0.04ミリの焼入リボン鋼の打ち抜き、アルミ100%せん断加工などを容易くこなしている。「当初より精密

プレス加工を得意としてきたメーカーです。例えばアルミ部品にこの技術を応用すると、バリが発生を抑制できます。その結果、バリ欠落よって生じる打痕の無い綺麗な製品を量産できます」(同)。

タイでの事業は現在、金型および金型部品の設計・製作が30%、量産プレス加工が70%という割合(15~200トン)。金型に関しては保守・新規製作やワイヤー放電による部品製作、プレスに関しては支給型での量産も引き受けている。「今後は金型の設計・製作の割合を引き上げ、量産プレス加工ではより本領が発揮できる精密加工を手掛けていきたい」と語りインタビューを締めくくった。

カメラ用絞り羽根・カム・レバー

プレス加工、塗装管理(潤滑塗装)、ダボカシメを行っています。焼入れリボン鋼薄板の打ち抜き、アルミ等の全周面せん断抜きに定評を頂いています。日本人エンジニアを配置し、高精度金型の製作とプレス加工を可能に。

絞り羽根 材質:焼入れリボン鋼 0.04~0.05mm
絞りカム 材質:黄銅・アルミ 0.5~0.8mm
レバー 材質:黄銅・SUS 0.5~0.8mm



弱電機器・家電部品

面押し・エンボス等の変形加工寸法を安定させるために下死点精度の高いサーボプレス、リンクモーションプレスで生産しております。

材質:SGCC0.6~1.2mm(溶融亜鉛鍍金鋼板)
材質:SUS430 0.6~1.2mm



二輪車・四輪車部品

形状が単純な部品ですが、特に高さ・径の均一を得るための工夫を凝らした金型で生産しております。

二輪車用スピードメーター部品(写真左上)
材質:SPCC-SD 0.8mm(亜鉛鍍金)

オイルゲージ用リテーナー(写真左下)
材質:SPCC-SD 0.8mm(亜鉛鍍金)



板バネ部品

スプリングバックの調整を考慮した金型を設計・製作し、量産加工に使用しています。

コネクタ部品 材質:C5191R 0.15mm



NB Precision (Thailand) Co., Ltd.

〒129/15 Moo 3 T. Wangchla A. Wangnoi, Ayutthaya 13170 Thailand

西村

0-3572-1707

info@nbp.co.th

http://www.nbp.co.th